

平成 20 年度

森林・林業振興全国大会

－ 森林・林業・山村の再生実現と国産材の復活－

日 時：平成 20 年 12 月 2 日（火）

会 場：砂防会館 別館 1 F 利根

全国森林組合連合会
日本造林協会

次 第

1. 開 会
2. 主催者挨拶
3. 来賓祝辞
4. 意見表明
5. 決 議
6. 国会議員紹介
7. 閉 会

森林・林業・山村の再生実現と国産材の復活に関する決議

私たち山村に暮らす林業者が、戦後、営々として育ててきた造林地が伐期に達しつつあり、資源的には国産材時代を迎えようとしている。しかしながら、長引く国産材不況により林業経営の維持が困難となっており、さらに世界的な金融危機により森林・林業・山村を取り巻く情勢は厳しさを増し、山村に住む多くの森林所有者、林業従事者とその家族 500 万人の生活が脅かされている。

私たち森林組合等林業関係者は、一丸となって、国産材の復活を通じて森林・林業・山村を再生し、山村の生活を守っていく決意である。

については、この実現のため、下記事項の実現と必要な林業予算の満額確保を政府・国会に強く要請するものである。

記

1. 地球温暖化防止森林吸収源対策のための環境税等安定的財源を確保すること
2. 国産材利用の拡大と国内価格の安定による林業経営の維持を図ること
3. 森林所有者負担のない間伐等の大幅な拡大と働きがいのある職場とするための緑の雇用等担い手対策の充実を図ること
4. パルプ・チップやバイオマス利用促進による間伐材・未利用森林資源の採算のとれる価格での取引の実現を図ること
5. 提案型集約化施業の推進による低コスト林業の確立を図ること

以上、決議する。

平成 20 年 12 月 2 日

森林・林業振興全国大会